

2025年度フィールドスタディ型政策協働プログラム（FS）参加者募集について

社会が大きな転換期にある今、様々な立場の方と協働しながら、政策を立案・実行できる人材の育成は、喫緊の課題です。本プログラムを通じて、多様な関係者と協働し社会的課題に果敢にチャレンジするリーダー人材の育成を目的としています。

本プログラムは、FSに協力する都道府県から学生の皆さんへ、地域における課題を提示することから始まります。投げかけられた課題に対して、チームで協力して、事前調査や活動計画の作成等を行った後、地域の現場に入ります。地域の現場では多様な関係者との対話を通じて、現状について身をもって体験・把握します。大学へ戻った後、引き続き課題解決に向け、自ら主体となってチームの仲間と共に考え、時には学内の教職員等の協力を得つつ、その糸口を探ります。これらの事前調査、現地活動、事後調査を通じて、一年をかけてじっくり課題解決の道筋を探り、活動の後半では地域に対する提案を行います。

参加を希望する学生は、以下の要領により申請を行ってください。

なお、災害や感染症等の状況によっては、直前にプログラム内容や実施方法等に変更が生じる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1 応募資格

以下の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 東京大学の学部学生・大学院学生（休学等、長期に就学を中断している者は除く。）
- (2) 地域の課題解決に向けて、自発的に地域と大学を奔走できる人材であること
- (3) チームや地域の方に自ら働きかけ、協力して活動を進められること
- (4) プログラムの全期間を通じて意欲的かつ継続的に活動できること

2 募集概要

(1) 活動場所

岩手、山形、福島、東京、富山、石川、三重、滋賀、和歌山、鳥取、島根、香川、高知、佐賀、長崎、熊本、宮崎の各都道府県

※いずれか1つの地域を担当

(2) 募集人員

各地域4名程度

(3) 活動期間

2025年5月下旬（結果通知後）～2026年3月

※年間スケジュールは「7年間スケジュール（予定）」を参照のこと。

(4) 活動支援

現地活動及びそれに準ずる活動にかかる経費の一部支援として、活動支援金（最大3回までの予定）を支給する。

※往復旅費、宿泊費、活動費の補助として、規定に基づき定額を支給。

また、参加決定の後、大学負担で賠償責任保険加入手続きを行う。

3 オリエンテーション

参加希望者はオリエンテーションに必ず参加すること。

やむを得ず参加できなかった場合は、必ず HP に掲載される欠席者用フォーム（資料申請フォーム）に登録し、自動通知メールにて送付されるオリエンテーション資料を確認してください。資料にてプログラム概要および各地域の課題を十分に理解してから、応募してください。

日時：2025年4月15日（火）18時40分～20時25分（予定）

場所：Online（Zoom）会議

※ミーティング URL の案内は UTAS 掲示板に掲載するので、確認すること。

※オリエンテーション終了後～20時45分まで、各地域の担当者と個別に交流できる時間を設ける。こちらについても積極的に参加し、複数地域を回ること。

4 申請方法

下記 HP にて 4/16（水）公開予定の Microsoft forms より申請内容を登録する。

※申請内容に不備があれば1週間以内にメールで連絡があるため確認すること。

（1週間以内に特に連絡がなければその時点で申請は完了していると判断してください。）

フィールドスタディ型政策協働プログラム（FS）：

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/special-activities/h002.html>

<主な申請内容>

・活動希望地域 【4地域 ※必須】

※第4希望地域まで記載がない場合や、第1～第4まで全て同じ地域を選択した場合には、理由のいかんに関わらず、申請を受け付けない。

・4地域についてのレポート

※志望地域について、選んだ理由や、地域が提示した課題の解決に向けて自らがどのような貢献をしたいかについてそれぞれ記述（各地域400字以内）

5 応募期間

2025年4月16日（水）～5月8日（木）正午【必着】

※参加希望者は「3 オリエンテーション」に必ず参加のこと。

6 選考について

- (1) 「4 申請方法」で提出された内容に基づき選考を行う。
- (2) 書類に不備のある場合の連絡や、合否結果等の重要な連絡はメールで行うため、定期的にメールを確認すること。
- (3) 活動場所については希望を優先するが、希望以外の地域での活動を事務局が打診することがある。

7 年間スケジュール（予定）

2025年	4月15日（火）	オリエンテーション【参加必須】
	5月8日（木）正午	応募締切
	5月中旬	書類選考
	5月下旬	結果通知
	5月下旬～7月	ワークショップ（3回）※ ・参加手続、参加心得、学生顔合わせ ・自治体等担当者との打合せ ・活動計画立案 学内での事前調査 担当地域とオンライン形式による交流
	8月～9月	現地活動 担当地域とオンライン形式による交流 中間報告書提出
2026年	10月～2026年1月	ワークショップ（現地活動振り返り）※ 学内での事後調査 担当地域とオンライン形式による交流
	2月	ワークショップ（報告会前準備）※
	2月～3月	活動報告会（学内・現地） 最終報告書等提出

※ 原則、18時45分～21時の間の1時間半程度で対面（本郷または駒場）にて実施予定。

※ 学業に関わる理由を除き、原則、参加必須。 詳細は参加者に追って通知する。

8 参加後の報告等

- (1) 2026年2月～3月に開催予定の報告会（活動地域と本学にて2回実施予定）における活動報告
- (2) 最終報告書（所定様式）等の提出
- (3) 活動終了後、「フィールドスタディ型政策協働プログラム学生スタッフ」として、次年度のオリエンテーションへの任意参加のほか、プログラムに関する業務への任意協力（次年度参加学生へのアドバイス等）を依頼する場合がある。

9 問い合わせ先

本部社会連携推進課体験活動推進チーム

電話：03-5841-2541/2542

Email：fs-office.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

※在宅勤務を実施している場合があるため、問い合わせは原則メールにて行うこと。

メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・学籍番号・電話番号を明記すること。